東京ＦＩＡニュース

第２９号　2004 年 8 月 1 日　東京国際農業者協会

今年も楽しく盛上がろう！！

ハーベストパーティー

日時　１０月２４日（日）１１時半スタート

会場　高杉ＯＢの農場（立川市）

参加費　2,000 円　～飲み放題食べ放題～

詳細は次頁をご覧下さい

ハイライト:

- 会員寄稿　宮城県丸森町の暮らし
- 催し物案内　秋はイベント盛りだくさん、みんなで参加しましょう
- ＯＢ情報　遠く離れた OB の今の情報発信中です

目次：

ハーベストパーティー	1
みやぎな日々	3
グリーンツーリズム	4
スクラップブック	5
秋園祭のご案内	6
各種ご案内	7
ＯＢ情報だより	8

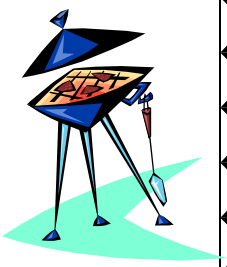
料理メニュー

FIA Special	なんでも網焼きグリル
Jin & Gen	特製メヒコフード
Saku-cyan	ちょっとうるさいグルメ鍋
UrbanFarmer	こだわり農作物
姫‘s	味自慢手作り惣菜

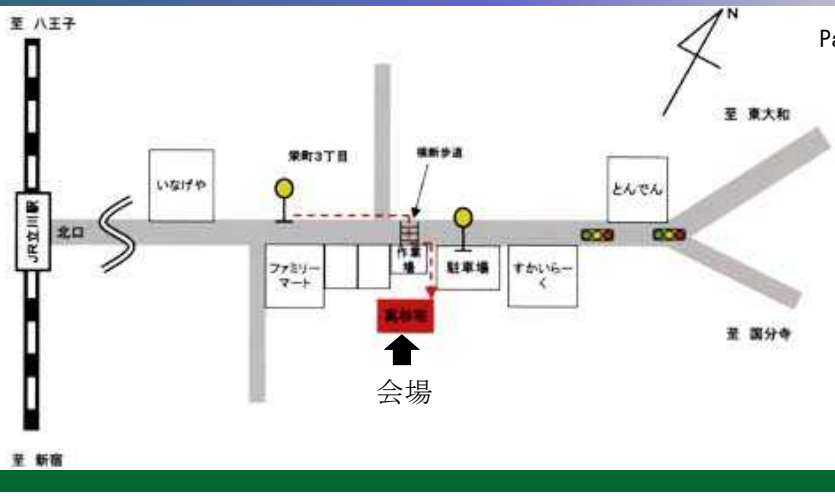
イベントメニュー

ビンゴ大会　参加者持参の面白賞品と
お楽しみ豪華特別賞！

オークション　食べきれないから
採れたて農作物即売会！



昨年のハーベストパーティーで～す



Page 2

東京ＦＩＡハーベストパーティーのご案内

日時：１０月２４日（日）１１時半～
会場：立川市栄町3-50-2　高杉農場
参加費：２，０００円　＊ビンゴ代500円込み

ハーベストパーティーのきまり

＊食器を持参しましょう
なるべくゴミを出さないように
箸、コップ、お椀など持ってきてくださいね

＊ビンゴの面白景品を用意してね
パーティーを盛り上げるビンゴ大会、面白景品、こだわり景品、アイデアあふれる景品を用意してください。

会場へのアクセス

・公共機関－バスまたはタクシー
ＪＲ立川駅よりバス１０～１５分
北口バスターミナル
栄町３丁目下車
・車－駐車場がありません
立川駅周辺の有料駐車場をご利用下さい
＊駐車料金は各自でご負担下さい
・住所
東京都立川市栄町3-50-2
TEL:090-4169-1876

◆参加申込書　　締切　１０月１５日（金）必着

氏　名	
住　所	
連絡先	
出　欠	・参加　・不参加　（どちらかを○で囲ってください）
メモ	

電話
03-5703-0254
FAX
03-5703-0255
電子メール
adachi@jaec.org

役員会　当日１０時より
・出席　・欠席
＊役員の方のみご記入下さい

宮城県丸森町
早川　真理　平成７年度スイス

みやぎな日々

スイスから宮城県に戻ってから、もうすぐ２年になろうとしている。

スイスから宮城県に戻ってから、もうすぐ２年になろうとしている。といっても研修からではなく、プライベートでドイツ語を学ぶために再渡欧した後の話だ。東京で生まれ育った私が東北に憧れて岩手に移り住み、岩手や宮城のあたりをVagabondのようにふらりふらりとしているうちに、なんとなく求めていた生活に近づいてきているような気がしている。

いま、宮城県北の鳴子町という温泉が湧く町で、11月に行われる「第2回 全国グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会」なるものの事務局を務めている。町の公民館の一角を事務局に分捕り、20坪はあろうかという大きな部屋でひとり黙々、PCとにらめっこの日々である。

宮城県鳴子町ホームページ
http://www.town.marumori.miyagi.jp/

どんな場所にも、周りに「変人」などと称される異端分子はいるもので、この過疎で保守的な小さな町にもそんな“変わった”住民や役場職員たちがなんとか現状を打破しようと、いささか白い目にさらされながら大会の準備を進めている。

どんな場所にも、周りに「変人」などと称される異端分子はいるもので、・・・

私の10年来のライフワークであった“グリーンツーリズム”というものも、横文字ゆえになんだかバタ臭く倦厭されがちだが、つまりは住民がフツーに食べている、持っている食や文化、景観などを訪れるひとにもちょっとだけおすそわけしてあげようという簡単な話だ。だから「農家も宿屋も商店もみんなそろってグリーンツーリズム」を（勝手に）目標にしている。

仙台の出版社を辞めフリーランスになったことをきっかけに、宮城県南の丸森町というところで住居付きのクラインガルテンを借り、移住した。職場が秋田と山形の県境にあり、住まいは福島との県境だから本来の市民農園のように週末利用しかできないが、土曜日になると約120kmの道程を（制限速度で）とばして畑作業することが楽しみになっている。おもしろいことに、大会のオプショナルツアーで丸森の我が「不動尊クラインガルテン」も視察プランに組み込まれているので、11月まで畑を美しく保っておこうと必死である。

クラインガルテン
http://www.town.marumori.miyagi.jp/sightseeing/garden.html

大会にご興味のある方はご連絡下さい。「はい。大会事務局です」と電話に出るのが例外なく私、早川です。
TEL:0229-82-2318(FAX兼用)
URL:http://www.town.naruko.miyagi.jp/tourism/gtnetwork

大会ホームページ

http://www.town.naruko.miyagi.jp/tourism/gtnetwork

第２回全国グリーン・ツーリズムネットワーク みやぎ鳴子大会

開催のごあんない

この度、町制施行50周年を迎える宮城県鳴子町を会場に「第２回 全国グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会」を開催する運びとなりました。

この大会は、ツーリズムを取り巻くいろいろな問題や悩みについて、全国の実践者の方々とともに課題の解決や今後の方向性に向けて本音で語り合う、質の高い交流を目指して昨年度、熊本県水俣市で第１回大会が開催されたものです。今年度は温泉観光地 鳴子を会場に、これからの旅の姿を考え、宮城県の海・山・里の食材や郷土食、それらを生かしたグリーン・ツーリズムのもてなしの心を体感・共有していただき、全国的なネットワークづくりと「磨き合い」を目的として開催するものであります。

また、東北や鳴子を体感するさまざまなワークショップ・オプショナルツアーなどもご用意しておりますので、皆様のお仲間もお誘いあわせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

概　要

会場：宮城県鳴子町
開催日：平成16年11月21日（日）～22日（月）
参加費：一般　4,000円　学生　2,000円
交流会費：4,000円
申込締切：9月30日
スケジュール：
　11/21　開会式　分科会　交流会
　11/22　パネルディスカッション　閉会式
分科会：
　第１分科会　食文化　～火を遊ぶ～
　　農林漁業レストラン/食の博物館/グリーンライフ
　第２分科会　連帯　～火をつなぐ～
　　教育との連帯/世代との連帯
　第３分科会　コミュニティーの再生　～火を育む～
　　集落/マネージメント
　第４分科会　行政支援　～火を灯す～
　　住民と自治行政体/規制緩和/パートナーシップ
　第５分科会　デザイン　～火を魅せる～
　　ほんものの農村景観/民家のしつらえ
　第６分科会　ツーリズムの質の向上　～火を守る～
　　独自性/相対化/コミュニケーション
　第７分科会　とことん鳴子　～火を活かす～
　　現代湯治/生活力/木地文化

お問合せ先　大会事務局　担当・早川
TEL & FAX　０２２９－８２－２３１８
E-MAIL　gtinfo@town.naruko.miyagi.jp

若いパワーで農業を明るくしよう！

ジャガ芋収穫祭 新しい仲間も続々と

スクラップブック　ＯＢの新聞記事を集めました

安田　弥生　スイス　　ルンルン通信 ⑤　農村報知新聞　2004/08/18

本格的な夏がやってきた。しかも４０度にもなる記録的な暑さ。しかし農繁期に弱音は吐けない。７月中に雨が降ったのは５日程。２週間全く降らない時にはさすがに困り、スズメの涙ほどの灌水をしたが、むなしい結果に終わり、植え付けたサツマ芋はひからびていくばかり。おかげで私まで体重が７キロも減ってしまった。これは嬉しいのだけれどね。その乾燥は、トマトやキュウリを病気にさせない効果をもたらし、就農して以来の豊作に。今までは、収量の少なかったトマトは「まぼろしの弥生トマト」とまで言われる情けない始末だった。

畑では草刈りに追われていながらも、学生と触れあうことの多い夏となった。もう一つは風の畑メインイベント「ジャガ芋収穫祭」。７月１１日、青空広がる朝、ジャガ芋掘りにたくさんの人たちが集まってきてくれた。毎年ただ掘って、インドカリーを食べる会だったのを、今年はゲーム感覚を加えてみた。

前日にカラーボールを３個埋めておいて、見つけた方には賞品をプレゼントというもの。また、今年の気候のおかげで大きな芋が多く、大きいジャガ芋を掘り出して競うジャガ芋コンテスト（ジャガコン）も。こちらも賞品をベスト５まで進呈。はたして盛り上がるかしらと少々の心配をしていたのだが、いざ掘り始めると、目の色が変わっていき、ジャガコングランプリを狙うがごとく掘り当てる度、「これはデカイ」とか「これはいいセンいっている」と皆、勝ち誇るように宣言！ カラーボールが３個見つかっていないうちに、黒い雲がもくもくと湧いてきて、大雨が降り出し、急きょビニールハウスに避難。少々早めのカレーを食べ、外ではどしゃ降りの中チャパティを焼いたり、中ではアフリカンドラムで盛り上げてくれたり。午後は再び青空が戻り、皆、畑へ飛び出していって無事３個のカラーボールは発見された。

そんな私の暮らしぶりを、地元の中学生や八ヶ岳農大へ夏休みで来ている高校生へ話をしに出かけたりもした。中学生には、情熱を燃やして農業は楽しいと語った。開発住宅地内の学校でもあり、私の話は今後につながるかも…と思ったのだが、そんな夢も、後で見させてもらった感想文を読んで、私は少しキョトンとなった。「農業は大変そう」という内容が多かったのだ。私の話し方も反省すべきだし、農業イコール大変な職業といった先入観があることを実感した。もちろん辛い事もあるけれど、本当は楽しいんだよーとさけびながら読んでいた。

また、久しぶりに八ヶ岳農大の土を踏み、懐かしい牛糞の香りに深呼吸した。高校生の中に「この学校へ入学します」といった青年の目がキラキラしていたのが印象的で嬉しくなった。

畑には、自分の意志で中学２年生の女の子が横浜から２日間手伝いに来てくれた。大人に混ざって猛暑の中、初めての体験と虫を見る度、声をあげて、きれいな虫は見せに来てくれる。

最後に「こんなに汗をかいたのは初めて。いかに普段かいてないかが分かった。疲れたけど体が軽い」といったかわいい笑顔に、私の汗はふき飛んでしまいました。エライ！！

へび～と逃げる私。喜びむらがる女の子たち

芋掘り終わって、ハイチーズ！

好評連載中！！
農業報知新聞　ルンルン通信 from 風の畑
http://www.nouson-houchi.com/column/runrun/

学校法人啓倫学園
国際園芸セラピー専門学校
理事長・校長　　田中　啓介

学園祭開催のご案内

秋晴れの候、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は本学運営に対し、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

　さて、私ども国際園芸セラピー専門学校では、来る１１月１３日・１４日の２日間、毎年恒例の『学園祭』を開催いたします。本学在校生による日ごろの学習成果を披露する場として、またご来校いただく方々が楽しめる参加型複合イベントとして、多くの方々にご来場賜りたくご案内させて頂いきます。

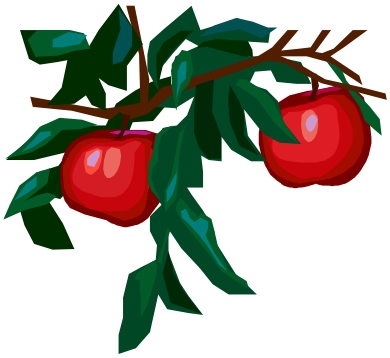
平成１６年度学園祭『秋園祭』開催要項

日時：平成16年11月13日（土）10時～16時
　　14日（日）10時～15時
場所：国際園芸セラピー専門学校
主な出展内容：
　　実習作品展示（生け花、フラワーアレンジ
　　インドアガーデン、盆栽他）
　　校外実習・国内宿泊研修、海外研修旅行発表、
　　課題研究・卒業研究発表
　　販売コーナー（学生が栽培した花の苗やとれたて
　　無農薬野菜、ハーブティー他）
　　体験実習・実演コーナー、
　　各種団体・協賛企業出展、講師作品出展、
　　入学相談室
共催：国際製菓専門学校小平校
協力：西東京調理師専門学校、国際製菓専門学校

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ
http://www.tanaka.ac.jp/therapy/therapy.html

＜本件問い合わせ先＞
学校法人啓倫学園　国際園芸セラピー専門学校
（担当：髙橋、滝浪）
TEL：042-342-8246　FAX：042-343-5584
E-mail：engei@tanaka.ac.jp

ご案内



りんご狩り

石坂ファーム・ハウス

日野市百草の石坂ファーム・ハウスでは、10月2日・3日りんご狩りが楽しめます。東京の里山「石坂ファーム・ハウス」で秋の味覚を満喫しましょう。

期間：10月2日・３日
連絡先：042-591-6477
住所：東京都日野市百草671
詳細は電話で確認してください。

早藤義則所長お疲れ様パーティー

前号でもお知らせいたしました早藤所長（神奈川/S52/米2）への感謝の意味を込めて、「早藤義則所長お疲れ様パーティー」が有志により開催されます。全国よりＯＢが参加いたしますので、皆様のご参加お願いいたします。

日時：１０月１６日（土）１７時より
場所：日本青年館（東京・霞ヶ丘）
参加費：5,000円　　宿泊費：7,150円
連絡先：042-591-6477
E-mail:m671hof@m2.hinocatv.ne.jp
発起人　石坂亜紀

平成16年度農業研修生海外派遣事業2次募集のご案内

米国本土派遣2年制について、2次募集を行います。申込締切は11月19日です。やる気ある若者の推薦をお願いいたします。

問合せ先
国農協業務部派遣業務課
℡. 03-5703-0252

海外農業研修生ＯＢ情報のご案内

昨年9月よりOB有志により開設されましたメーリングリスト「海外農業研修生OB情報」へ多くの会員に参加していただいております。現在１２０名以上の全国のＯＢ・ＯＧが情報交換をしています。皆様のご参加をお待ちしています。

ＯＢ情報についての問合せは
管理人：村田正までご連絡下さい
電子メール：
murata@owl1.owls.co.jp
ホームページ：
http://www.owls.co.jp/greenfield/

東京国際農業者協会
〒144-0052
東京都大田区蒲田5-39-2-6Ｆ
TEL:03(5703)0253
FAX:03(5703)0255

ＯＢ情報だより

メーリングリストへの投稿より抜粋いたしました

米２・３回・アリゾナ・スペンサー農場・柑橘専攻・相和宏

今、夜の8時一日の作業が終わった所である。朝4時半に起き牛を牛舎に入れ、搾乳の準備してメールチェックして6時に搾乳開始。
9時に全てが終わり朝食を取る間も無く人工授精師、獣医の対応、電話、お客さん対応少し仕事をしていると午後２時昼食を取り、仮眠を取るともう4時、夕方の搾乳準備、搾乳が終わり餌の給与を終えると夜の８時、焼酎のお湯割を飲みながら野球観戦、会議、その他の用件等の後晩い夕食を取り風呂に入り１０時、１１時寝る１２時過ぎることも有る。
こんな毎日を東京、札幌などの会議出席の１０日ほどを除いて年中同じ、これが酪農家の私の１日である。
ほぼ３０年仕事に追われた毎日であった、風邪で熱を出した日も休み無く、２年前交通事故で足を２ヵ所骨折したときはさすがに2日休んだが３日後は搾乳をしていた。もっとスゴイのは女房である、この３０年風邪をひいて休んだことが無い。ある作家は親牛１００頭を超える家族経営の酪農業は人間の生活と言うにはあまりにも過酷であると述べたが、こんな生活に何の違和感も感じなく、誇りすら感じている。
　最近は娘夫婦が手伝ってくれだいぶ楽になった、６０歳過ぎてもあまり元気なので経営交代をしないでこのまま力尽きるまでやれと言う。毎日必ず飲むコップ３杯の放牧牛乳のお陰ですごく健康である。
先月の健康診断もどの数値も理想的とでた、金で計算すると割に合わないが本当の幸せとはこんなもんでないかと最近思う。

米２・２回生/野菜/平井貞夫/滋賀

この前のオリンピック騒ぎは何だったの？と言いたくなるほどマスコミには殆ど登場しないが、アテネで開かれているパラリンピックに出場している選手には感動を覚える。シドニーで金メダルを取った高橋尚子選手の走る姿に感動し、力になったと言った人達はこのパラリンピックのシーンを見ているだろうか？
高橋選手や野口選手の金メダルにケチを付ける気は毛頭無い。しかし生まれつき両方の腕が肩から無い選手が、水泳をしメダルを取っているこのレースを、何故マスコミはもっと報道しないのだろう。国営放送たるNHKにはその義務が有るんじゃ無いか。ＢＳはみんなやる…なんて言ってたが。
スキーでも片腕の無いクロスカントリーの選手が居る。彼は当然前回のパラリンピックに出場したが、何よりびっくりしたのは通常の冬季国体スキー競技会に、県の代表選手として出場していたこと。新田君を初めて見たときには、片方のストックをコースの途中で折って、仕方なく片ストックで走っているものと思ったものだ。
ハンデキャップを笈ながら、精一杯努力してパラリンピックに出場し、しかも世界新記録を樹立して優勝するなんて、想像を絶する。何より感動を覚えたのは、彼らが実に堂々としていたこと。両腕の無い姿で水着姿になって、世界中に配信されるテレビカメラの前で、普通なら隠したいそのハンデを普通の事にしてしまった彼らに、小泉首相は「感動した！」と電話を掛けないのだろうか？